

□第8回大津市中心市街地活性化協議会 議事録

日 時： 平成21年3月10日（火） 午後3時00分～午後4時00分

場 所： 明日都浜大津1階 大会議室

参加者： 委 員 酒井、石川、遠藤、寺田、木村、三上、山田、磯村、上田、別所、
林、村田、北嶋、戸田、山口、八森、柴山、福井、白井、井上、
高田、山本、松崎
オブザーバー 奥村、瀬古、伊津田、坂本、川治、徳永、加藤、浦野
事務局 高栖、山下、小西
大津市 堀出、高野、高木

（順不同・敬称略）

1. 開会（まちづくり大津・事務局）

2. あいさつ（酒井会長）

3. 報告

（1）平成20年度事業報告について

①平成20年大津市中心市街地活性化協議会の収支について

事務局より資料に沿って説明

〈意見交換〉

- ・国庫補助はまだなのか。
- ・これから申請を行い、報告書を添付する。
- ・本年度、町家利活用プロジェクトとしては、町家利活用を進めるうえで必要となる事業の企画・検討を中心に行った。事業としては、大津百町ののぼりを製作し、大津百町市を実施した。来年度は、以前の協議会で説明させていただいた旧町名の看板整備や登録文化財を活かしたまちづくりをはじめとした本年度企画した事業を実行に移したいと考えている。具体的には、看板の試作、現存する町家の所有者の承諾を得たうえでの登録文化財としての登録、パースを画いて住民の皆さんに示したりしたいと考えている。しかし、現状では、事業を企画しても、実施するための費用を捻出できないところである。このために、かねてから事務局に要望していたが、事業を行うために必要な費用を協議会として何とかしていただけないかと考えている。
- ・市からの補助金を利用することはできないのか。
- ・今年度も市から協議会運営事業補助金がでるかまだ確定していないので、現時点ではわからない。
- ・今後、事業の推進を図るにあたり、具体的な予算請求をしなければならない。いつ申請したらよいのか。
- ・年度初めに、各プロジェクトリーダーを集めて、検討していきたいと考えている。

- ・そもそも各プロジェクトに予算が必要なのか。プロジェクト会議が実際に事業を行うものではないと認識していたが。
- ・今回の予算請求に関してはあくまでも試作事業に対する請求と考えていただきたい。
- ・今現在、市からの補助金があるのかわからないので、このことを話し合っても意味はないのではないか。
- ・市からの補助金については現在申請中である。議会を通過するようがんばってほしい。
- ・収支の予算配分は予定通りなのか。
- ・申請時期のずれにより、国庫補助金が予定額よりも少なくなったため、その分まちづくり会社の支出が増える形となった。
- ・協議会規約第5条第5項には、「協議会は中心市街地活性化に寄与する活動」を実施すると書かれていることから、これらの事業の予算を出すことは、可能であるとする。

②大津市中心市街地活性化協議会支援業務について

COM計画研究所より資料に沿って説明

＜意見交換＞

- ・平成21年度の事業については今の報告はわかったが、本年度は何をしたのか。
- ・20年度は、琵琶湖湖畔活用エコツーリズム事業のイメージづくり、大津まちなか食マップホームページの作成、大津百町ののぼりの作成、大津百町市を開催した。
- ・戦略的中心市街地中小商業等活性化支援事業費補助金を利用して何ができたのか。
- ・20年度については、なぎさ公園テナントミックス施設整備事業を行ったが、本事業は事業主体がまちづくり大津で協議会というわけではないので、本日は報告をしていない。大津市中心市街地活性化基本計画が7月に認定され、わずか8ヶ月の間に1事業を実施できたことは評価できることだと思う。

③大津市中心市街地活性化協議会タウンマネジャー業務について

高栖タウンマネジャーより資料に沿って説明

＜意見交換＞

- ・商店街や商店の調査をされているが、現在いくつ商店があるのか。
- ・300程度である。
- ・今年度で半分の調査を終えたということになる。資料には今後の方向性について書かれているが、内容が伝わらない。ここの内容をもっと充実させてほしい。
- ・中心市街地の中心であるナカマチ商店街を今年度は集中して調査を行った。他の商店街は、連続性がなくなってきており、なかなか調査が難しいのが現状だ。
- ・1年を費やして、今後の方向性、提案に関する記述が少ないのは残念だ。
- ・現在の大津市中心市街地の商店街は壊滅的だ。その現状を打開するためにタウンマネジャーには期待していた。これまで商店街に関する報告書はたくさんあるが、どうしたらいい

のかが書かれていない。例えば周辺自治体の商店街では、定額給付金の支給が目前となり、活動が活発になってきている。しかし大津では現在のところ何の動きも見られない。このような機会にタウンマネジャーから何か提案をしてほしい。20年度は初年度なのでしかたがないので、21年度は是非成果を出してほしい。

- ・タウンマネジャーとは何かという考えをこの場で統一しなければならない。タウンマネジャーの役割をはっきりさせる必要があるのではないか。それをうやむやにしていたことは、協議会全体の反省点といえるのではないか。
- ・まちにとって商店街はとても重要な存在だと考える。周辺の大型商業施設には一時的には行くが、やはり最終的には商店街に帰ってくることになる。今後、定額給付金に対する活動も含め、商店街はどのような活動をしていくのか教えていただきたい。
- ・現在定額給付金の支給に向けて市と協力して準備をし始めている。商店街だけでは資金的にも動けないので、市に協力を要請しているのが現状である。

(2) 来年度の国庫補助事業について

事務局より資料に沿って説明

〈意見交換〉

- ・戦略的補助金を申請した3事業主体には大津市中心市街地活性化に向けてがんばってほしい。また、大津駅前商店街の事業についても、大津市としては重要な事業であると位置づけているので、第2次申請に向けて合意形成が図れるようがんばってほしい。

5. その他

- ・UR都市機構より全国都市再生支援制度の紹介
- ・びわ湖ホールよりイベントの紹介
- ・滋賀県よりまちづくりフォーラムの紹介

次回 5月15日(金) 午後3時より

6. 閉会